

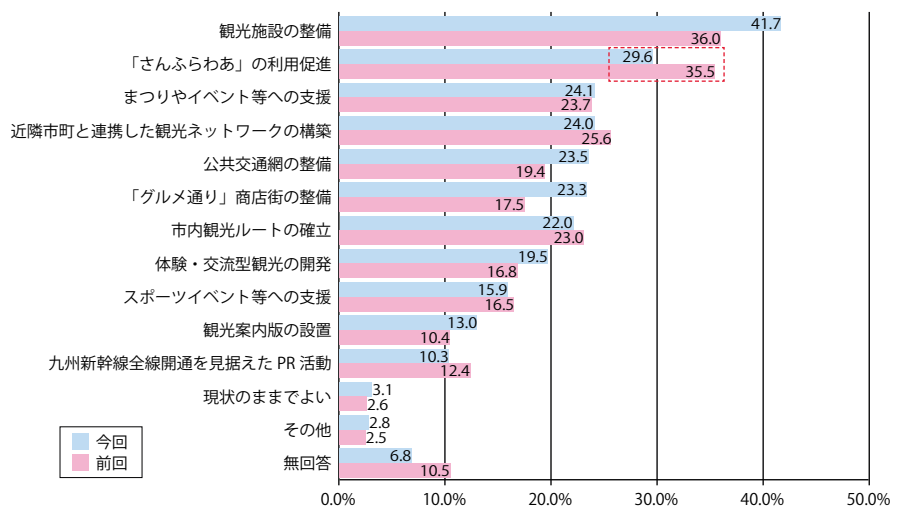
# 住民意識アンケート調査の結果を報告します（後編）

現在、市では、今後 10 年間のまちづくりの方針を定める「第 2 次志布志市総合振興計画」の策定を進めています。その取組のひとつとして、平成 28 年 1 月から 2 月にかけて、住民意識アンケート調査を実施しました。今月は、その結果について、先月の前編に引き続き後編を報告します。

## Q 観光客を増やすために力を入れること

観光客を増やすために市が今後力を入れるべきこととして、「観光施設の整備」(41.7%)、「『さんふらわあ』の利用促進」(29.6%)等が多くなっています。

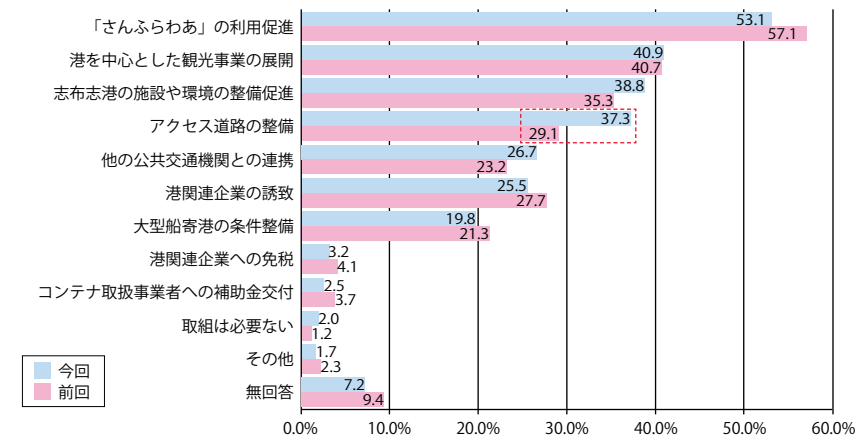
前回調査と比較して、「『さんふらわあ』の利用促進」の割合が 5.9 ポイント減少しています。



## Q 志布志港の利活用促進について

志布志港は、港湾活動や港湾企業による経済効果をもたらし、地域産業や雇用を支える、市にとって重要な港湾です。この港の利活用促進について有効と思われるのは「『さんふらわあ』の利用促進」(53.1%)、「港を中心とした観光事業の展開」(40.9%)等が多くなっています。

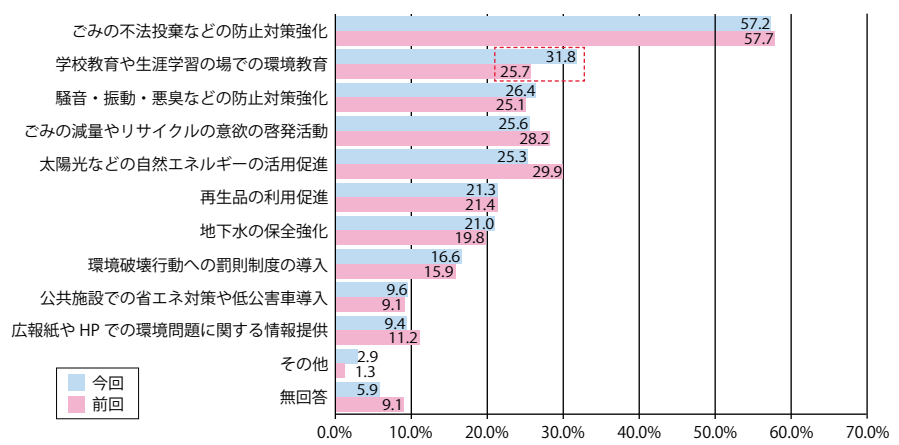
前回調査と比較して、「アクセス道路の整備」の割合が 8.2 ポイント増加しています。



## Q 環境を守るためにすべきこと

環境を守るためにすべきこととしては、「ごみの不法投棄などの防止策強化」(57.2%)、「学校教育や生涯学習の場での環境教育」(31.8%)等が多くなっています。

前回調査と比較して、「学校教育や生涯学習の場での環境教育」の割合が 6.1 ポイント増加しています。



## Q 地域ブランド化への期待

市は、地域ブランド化を進め、地域の活性化を図ろうと考えています。この地域ブランド化に期待するものとしては、「生産者の収入増加」(44.7%)、「関連産業の振興・雇用の増加」(44.5%)等が多くなっています。

前回調査と比較して、「地域資源の新たな発見」の割合が 5.3 ポイント増加しています。

